

# 三重県

## 三重県の環境施策について

### 1. 三重県の取り組み

三重県では、県の総合計画「県民しあわせプラン」第2次戦略計画(H19～H22)の中で、環境に関する多様な主体と連携した重点的取り組みとして、次のような施策を実施しています。

#### I 多様な主体が連携・協働して取り組むごみゼロ社会づくり

「ごみゼロ社会実現プラン」を策定し、多様な主体の参画のもと、ごみ減量化などに取り組み、家庭系ごみの排出量を2002年度比で10.9%削減(2009年度速報値)しました。また、ごみゼロキャラクターなどを活用し県全体の気運の醸成に努めています。

### みんなであそぼう “ごみゼロ社会”

- 風呂敷っていろいろ使えて便利だよ!
- マイバッグを持ってお買い物!
- お出かけにはマイボトル!



ゼロ美 ゼロ助 ゼロママ ゼロパパ ゼロ吉  
(ごみゼロキャラクター ゼロ吉ファミリー)

#### II 閉鎖性海域(伊勢湾)の再生

伊勢湾の再生に向け、生活排水対策を計画的・効率的に進めるとともに、愛知県、岐阜県などと連携して海岸清掃に広域で取り組む「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」などを実施しています。



ボランティアによる海岸清掃の状況

#### III みんなで取り組む地球温暖化対策

中小事業所の省エネ診断の実施、小規模事業者向け環境マネジメントシステム(M-EMS)の普及、企業が連携して行う「エコ通勤」の推進などにより、企業の自主的なCO<sub>2</sub>排出削減を促進しています。

### 2. 今後の環境施策について

県では、現在、第3次戦略計画(H23～H26)を策定中であり、この計画を検討する中で、これらの取り組みについても、今後4年間の方向性を明らかにしていきます。

三重県環境森林総務室 電話：059-224-2314

# 鳥羽市

## 生ごみリサイクルでまちづくり

私たち人間社会から発生した多種多様で膨大な廃棄物が、地球温暖化など地球環境に深刻な影響を及ぼしていることから、ごみの減量化は重要です。

鳥羽市では、一般廃棄物の約80%の処理を焼却に頼ってきましたが、観光地である鳥羽では可燃ごみの約半分が生ごみです。生ごみは、70～90%が水分で、焼却するにはコストがかかる反面、養分が多く含まれており、大切な資源でもあります。

こうしたことから平成18年度に「鳥羽市リサイクルパーク」を整備しました。鳥羽市リサイクルパーク内の生ごみ堆肥舎(約400世帯分の生ごみ堆肥化)及びリサイクルごみステーションの管理や環境教育講座などの運営については「NPOとばりサイクルネットワーク」に任せています。パークの利用者が年間2万人を越え、リサイクルの対象となるごみは、年間約200トン(市の回収量の約20%相当)が持ち込まれます。また、堆肥舎による生ごみ資源化量も年間約100トンにも及びます。



鳥羽市リサイクルパーク

平成20年度から事業系生ごみ処理機設置補助制度を開始し、現在までにホテルなどの3事業所に助成を行いました。この補助制度は、生ごみ処理機で生成された一次処理物を農家などに提供し、その堆肥によって育てられた有機栽培の野菜などを仕入れ食材として資源循環することを目的としています。

平成21年度には、神島、菅島、坂手島に生ごみ処理機を設置しました。3島合計で年間150トンの生ごみを処理し、10～20トンの一次処理物が生成されます。現在、島内の希望者に無償で一次処理物を配布し肥料として活用されています。



神島生ごみ処理機に生ごみを入れる様子

私たちは、生ごみを通して資源循環や環境を守ることを学んできました。食事はなるべく残さないように食べる。また、食べ残した食材は堆肥として活用し安心して安全なおいしい野菜を作るために活用することを推進しています。こうした取り組みにより資源循環型社会の構築を目指します。

鳥羽市環境課 電話：0599-25-1149